

第 1 回日進市道の駅整備検討委員会会議録

日 時 平成 29 年 7 月 10 日（月） 午前 10 時から 12 時 15 分まで

場 所 日進市中央福祉センター2 階多機能室南

出 席 者 〈委員〉
伊豆原浩二、鵜飼宏成、亀倉正彦、内田好昭、石黒秀一、中村雄一、
蟹江栄吾、幸村好美、間瀬真由子、菅沼成明、住田穂積、平真弓、森川敏育、
加藤由喜雄
〈オブザーバー〉
大原千明（中部地方整備局名古屋国道事務所交通対策課長）
小柳和人（愛知県建設部道路維持課課長補佐）
河合誠（愛知県尾張建設事務所道路整備課長）
金山敏和（市企画部長）、遠松誠（市建設経済部長）

欠 席 委 員 佐藤亜矢子

事務局（説明のため出席した職員の職氏名）
宇佐美博（建設経済部次長兼道路建設課長）、高柳秀史（同課課長補佐）、清水
幸敬（同課用地係長）、橋本公太（同課用地係主任）
伊藤孝明（建設経済部特命事項支援員）、加藤博之（都市計画課担当課長）

傍聴の可否 可

傍聴の有無 有（13 名）

議 題 議題1：「道の駅」の概要等について
議題2：「日進市道の駅基本構想」の概要等について
議題3：市民アンケート調査実施（案）について
議題4：検討体制及び今後のスケジュールについて

配 布 資 料 次第
資料 1：日進市道の駅整備検討委員会名簿
資料 2：第 1 回日進市道の駅整備検討委員会座席表
資料 3：日進市道の駅整備検討委員会設置条例
資料 4：第 1 回日進市道の駅整備検討委員会資料

議事及び発言内容

発言者	内容（要旨）
	・開会(午前 10 時)
事務局	本委員会は、今回が第 1 回目の委員会であるため、委員長が決まるまでの間は、建設経済部次長兼道路建設課長が議長代理として議事進行を行います。
議長代理	・傍聴者の確認
事務局	傍聴の申し出あり(13 名)。傍聴者入室。
議長代理	日進市道の駅整備検討委員会設置条例第 5 条第 1 項の規定に基づき、委員長の選出を行います。委員長の選出について、推薦等ありますか。

委員	都市交通計画に造詣が深く、交通まちづくりに深い学識経験や知識をお持ちの伊豆原浩二委員を推薦したいと思います。
議長代理	伊豆原委員の推薦がありました。他にはありませんか。それでは賛成の方は挙手をお願いします。
委員	(全員挙手)
議長代理	全員賛成でありましたので、委員長は伊豆原委員に就任していただきます。伊豆原委員には、委員長席に移動いただき、あいさつと委員長代理の選任をお願いします。
委員長	・あいさつ 委員長代理には、鶴飼委員を指名します。
事務局	委員長が決まりましたので、以後の進行は、伊豆原委員長をお願いします。
委員長	それでは、議題に移りたいと思います。 本日の議題は4点になります。資料については、各議題に関連があることから、事務局より一括で資料説明をお願いします。
事務局	(資料4を用いて説明)
委員長	事務局より説明がありましたが、議題1「道の駅」の概要等について、何か質問等ありますか。
委員	本委員会は、どのような検討を行うものか。基本構想に基づいていることは分かるが、どのような基本計画を作り上げていきたいか見えてこない。目標、目的、実施していくためのアクションプラン等が見えてこない。また、資料全体を通して評論家のようなものである。日進市が作る「道の駅」であるので、担当課においては責任を持って取り組んで欲しい。 委員会では、基本計画の具体的な内容を検討したい。先ほどの資料説明において、パブリックコメントの話が出たが、パブリックコメントの実施を考えると12月頃には、委員会の承認を経た素案ができていく必要がある。基本的な部分を検討する時間があるのか。事務局が作った案に、暗黙の了解を得るような検討過程では、委員会の意味がないと感じる。
委員長	基本計画を作る上での方針や考え方が、資料から見えてこないのではないかと指摘ですが。
事務局	日進市は、昨年度策定した基本構想に基づいて、「地域課題を合わせて解決できる」道の駅を検討しています。 全体の流れは、資料4の24ページを見てください。基本計画を策定するにあたり、導入機能、具体的な施設や規模等を検討していくこととなります。今回は、第1回ということで、「道の駅」や基本構想の概要という内容になっていますが、本日、議論したいのは市民アンケート調査の内容であります。 第2回の委員会では、「どのような施設を入れていくのか」「その施設の規模はどの程度か」「どのように配置していくのか」ということを検討していきます。第2回から委員の言われた具体的な数値や目的を決めていく予定です。スケジュール予定では12月に基本計画案の策定を目指していますが、検討状況により回数が増えることもあります。

	<p>以上により、具体的な中身、数値目標は、第2回から行っていくことになります。その必要な情報を収集するために、市民対象と道路利用者対象の2パターンでアンケート調査を実施し、そのアンケート結果を踏まえて、第2回からの本格的な検討につなげていきたいと考えています。</p>
委員長	<p>議題2「日進市道の駅基本構想」の概要等について、何か意見・質問等ありますか。</p>
委員	<p>導入機能や施設計画等は、どちらかといえばハード面である。委員の皆さんにも、ハード面だけでなくソフト面でも「道の駅にどういう機能を持たせたいか」という意見はある。今の説明だと、市民アンケートを唯一にして基本計画を作るように聞こえる。事務局が作った案に委員の意見や要望が入らない、とならないように配慮してもらいたい。</p>
委員長	<p>今の話は、資料の作り方等への指摘事項だと思われます。今回は第1回目であり、次のステップへの意見と皆さんに理解してもらえればと思いますが、事務局としては何かありますか。</p>
事務局	<p>「道の駅」の使い方や、どのような活動ができるかということも含めて議論をしていく予定です。資料4の23ページのアンケート案にも、問9「このような施設があったら、どのように使ってみたいか」という設問を設けています。具体的には、資料18ページ「整備コンセプトを実現するイメージ」として各分野での例を挙げていますが、市民アンケートや委員会での議論の結果も、反映していければと考えています。</p>
委員	<p>資料を見て、利用者の目線が欠けていると感じる。最終的にお荷物施設にならないか、危惧している。もう少し具体的な計画を資料に落とし込んでいかなければ、施設の有益性が活かされない。例えば、「子育て支援」を掲げているが、車社会の機能とうまくジョイントしていくのか、あるいは、刈谷ハイウェイオアシスのような構想を持つていくのか。その場合は、かなりの費用がかかる。そのあたりの具体的な方向性が見えてこない。</p>
事務局	<p>委員会の具体的な議論は第2回からになります。検討過程の中で、意見を取り込んでいきたいと考えています。</p>
委員長	<p>意見は「道の駅」全体についての話だと思いますが、今回は今まで行ってきた基本構想を始め市の考え方や位置付けをまとめていて、次のステップでこれまで考えてきた内容を詰めていくことになります。</p>
委員	<p>整備は一体型で進めていくのか、単独型で進めるのか、どちらで計画しているのか。</p>
事務局	<p>現在、道路管理者の愛知県と協議を進めており、一体型による整備計画で調整を進めています。</p>
委員	<p>スケジュールについて、平成33年度の開駅に向けて、一体型で整備を進める方針は分かったが、「道の駅」の管理運営手法については、どのように想定しているのか。その選択によっては、運営方式、事業者の選定が開駅直前で進んでいけるのか。</p>
事務局	<p>基本構想の策定段階で可能性が高いと考えていたのは指定管理者制度ですが、検討委員会でも第3回で検討していただく予定で、今後も研究・検討を進めていきたいと考えています。</p>
委員	<p>その検討内容によっては、事業計画のスケジュールは変動するということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのように考えています。</p>

委員長	事業手法は、今の時点での話であり、国の補助制度等も数年で変わっていきます。どうい形で開駅まで進めるのかについては、これから整理していく必要があります。議題2「日進市道の駅基本構想の概要等について」、ほかにご意見はありますか。
委員	私が「道の駅」を利用するとき、自分の知らない場所で、安全に駐車でき、トイレを利用でき、ついでにその地域の情報を得る、そうした外部の人間を対象とした視点になっている。市の方向性が見えないので、「こうしていきたい」というものを提示してもらえると、議論しやすい。また、「何のために道の駅を作るのか」という部分が、今一つ分かりにくいので、一般市民も分かりにくいのではないかと。
事務局	これまでの「道の駅」は、観光地等に立ち寄る途中にある休憩施設が主なものであります。しかし、日進市は名古屋近郊にあり、観光地化しているまちではないため、これまでの「道の駅」とは一線を画した施設になると考えています。資料4の3ページ「近年の動向」にあるように、ゲートウェイ型の「道の駅」が、観光地にある従来型のイメージで、地域センター型が市民も対象とした「道の駅」となります。市としては、産業振興、地域福祉、防災等を中心に、市民を対象とした「地域センター型」を目指しています。
委員	モデルとなっている事業やどのような特色があるか等、具体的な事例を示してもらえると分かりやすいと思う。資料をもう少し工夫してもらいたい。
委員	隣の東郷町も「道の駅」を計画しているが、どういう住み分けするのか。次回は東郷町の計画が分かるような内容も提示してもらいたい。
委員長	差別化や別の視点を持つことは重要だと思います。今回は、基本構想から施設イメージを具体的な計画に持ち込むために、子育て支援、防災、産業振興等のテーマに絞り込んで考えていますが、ほかにご意見はありますか。
委員	基本となる計画は理解できたが、いろいろな「道の駅」を見てきて、コンセプトに「子育て支援」というのは、今まで見たことがない。子育て支援を挙げておいて、単に「噴水がある」「家族で来れますよ」では、コンセプトとしては弱いのではないかと。
事務局	「子育て支援」という項目については、資料4の13ページにあるように、国は重点「道の駅」制度の8項目に「地域福祉」の項目を提示しています。この地域福祉の内容は、高齢者福祉や障害者福祉だけでなく、広い意味での地域福祉を指しています。今までの「道の駅」では、こうした地域福祉をテーマとしたものは珍しいですが、地域福祉として子育て支援の取り組みは市の課題の一つであり、国の考えにも沿っている内容と考えています。
委員	このように「子育て支援」というテーマを挙げていくと、女性や特に子育て世代の皆さんが期待すると思う。売りにしておきながら、できた施設が「この程度か」とならなければよいと思う。
委員長	「子育て支援」を旗揚げするのであれば、事務局には、次のステップとして、アンケート結果等を整理してもらい、案を示してもらいたいです。
委員	市民を対象というのは、日進市の施設なので、それはそれでよい。しかし、長久手市やみよし市等の近隣市町、もう少し広い範囲で豊田市や刈谷市等、さらには県外との連携は含まれていないのか。
事務局	現時点では、具体的な広域連携は想定しておらず、瀬戸大府東海線という路線の利用者と市民の利用を見込んで検討を進めています。

委員長	瀬戸大府東海線は主要地方道であり、県レベルで利用されている、広域性を持った道路であり、国道 153 号も近く、東郷町との住み分けも考えていく必要があります。そういった広域的な視点も持っているかとの指摘であり、そうした整理も必要であると思います。
委員長	ほかにご意見はありませんでしょうか。なければ、議題 2「日進市道の駅基本構想」の概要等について、よろしいでしょうか。
全委員	(特に意見なし)
委員長	続いて、議題 3 市民アンケート調査実施(案)について、何か意見・質問等ありますか。
委員	アンケート調査というのは、多く集めることに意味があるが、費用の問題もある。例えば、地域組織を活用して、アンケート調査数を増やせないか。知恵を出せば、費用をかけなくても、アンケート数を増やす方法があるのではないか。留め置き調査も、回収率が低い、手法として考えられないか。また、瀬戸大府東海線の道路利用者アンケートが 100 人程度だが、少なすぎる。もっと取るべきである。
事務局	市民アンケートの標本数については、算定する計算式があります。本市の人口約 89,000 人に対して、アンケート数 1,000 票で回収率を 40%と想定して計算した結果、傾向を取るには必要十分と考えます。なお、回収率 40%については、昨年度の市民意識調査等、直近で行った市のアンケート調査が概ね 40～50%の回収率であるため 40%で設定しました。道路利用者アンケートについては、少し数を増やすことを検討します。
委員	道路利用者アンケートについて、問 10 は違和感がある。この設問が、どのような検証につながっていくのか。
事務局	道路利用者アンケートの対象は、通過交通者であり、日進市「道の駅」について知らない人も多いと想定されます。問 10 は、そうした通過交通者が「道の駅」を利用するのか、ということ把握するためのものです。また、駐車場施設は立寄率から算定されるため、その参考にしたいと考えています。
委員長	単純に「道の駅に立ち寄りますか」という質問になっているからではないかと思われるので、例えば、「問 9 の施設が整備されたら立ち寄るか」等、聞き方を整理してはどうでしょうか。
事務局	問 10 の質問方法を変えて、「利用者が望む施設があった場合」として回答してもらうこととします。
委員	2 点お聞きするが、アンケート時はどのような情報を提供するのか。「道の駅」の計画を知った上で回答するのか、まっさらな状態で回答するのか。まっさらな状態で回答する場合、他の「道の駅」をイメージして回答すると思われる。2 点目は、追加調査の実施はあるのか。
事務局	基本構想を知った上で回答してもらうよう、基本構想の概要版を添付します。また、追加調査は、必要があれば行いたいと考えています。
委員	3 点お聞きするが、1 点目、実際に可能であればだが、郵送だけでなく、例えば QR コードを使った携帯電話で回答できる調査があると回収率が上がるのではないか。2 点目、道路利用者アンケートについて、100 票ではクロス集計しにくいので、200～300 票

	あるとよいのではないかと。3点目、市民アンケートでは問7が肝となる。例えば、「農業が活性化する」は「農産物が手に入りやすくなる」等、選択肢を市民目線の表現にしてはどうか。
事務局	QRコードについては、予算、時間、技術等の問題もあるため、実施できるかは不明ですが、一度検討します。2点目の道路利用者アンケートですが、100票では少ないとのご指摘については、数を増やして実施します。3点目の問7については、選択肢の一部の修正を検討します。
委員長	いろいろな手法があるので、検討してもらえたらと思います。ただ、ウェブによるアンケートはよく行われているが、誰でも回答できるため、回答が偏る可能性があります。実施する場合は偏りを覚悟の上で、何らかの補正をすることも考えておく必要もあります。
委員長	市民アンケートの対象は、15歳以上ですか。
事務局	平成29年7月1日時点で18歳以上を対象としています。
委員	市民の範囲について、市民参加条例における「市民」の定義では、在勤、在学、市民活動している者も対象であるが、在住者にした理由はなにか。
事務局	今回は、在住者を対象としています。
委員	年齢や在住で縛る必要性はないのではないかと。
委員	逆にお聞きしたいが、積極的に広げていく意図はあるのか。
委員	条例があるため、その考えに基づいて行ってもらえたらと思う。
事務局	今回は、無作為抽出による郵送での実施ということもあるので、在住者で設定させてもらいました。
委員長	とりあえずは在住者と瀬戸大府東海線の道路利用者を対象にお聞きする、その上でどうしても補足調査等が必要ならば、次のステップで考えてもらうこととします。ほかに意見はありませんか。
全委員	(特に異議なし)
委員長	議題4検討体制及び今後のスケジュールについて、何か意見・質問等ありますか。
委員	第2回は8月予定になっているが、次回の予定が決まっていたら教えてほしい。
事務局	第2回の開催予定については、スケジュール案では8月となっておりますが、少し遅れて9月25日(月)午後2時を予定しています。場所については、改めて通知いたします。
委員長	アンケート調査の集計等の調整も関係があると思うので、皆さんにはご理解いただきたいと思います。 その他、全体を通して意見・質問はありますか。
全員	(特に意見なし)
委員長	意見もないようですので、これで終了いたします。ありがとうございました。
	・閉会(12時15分)